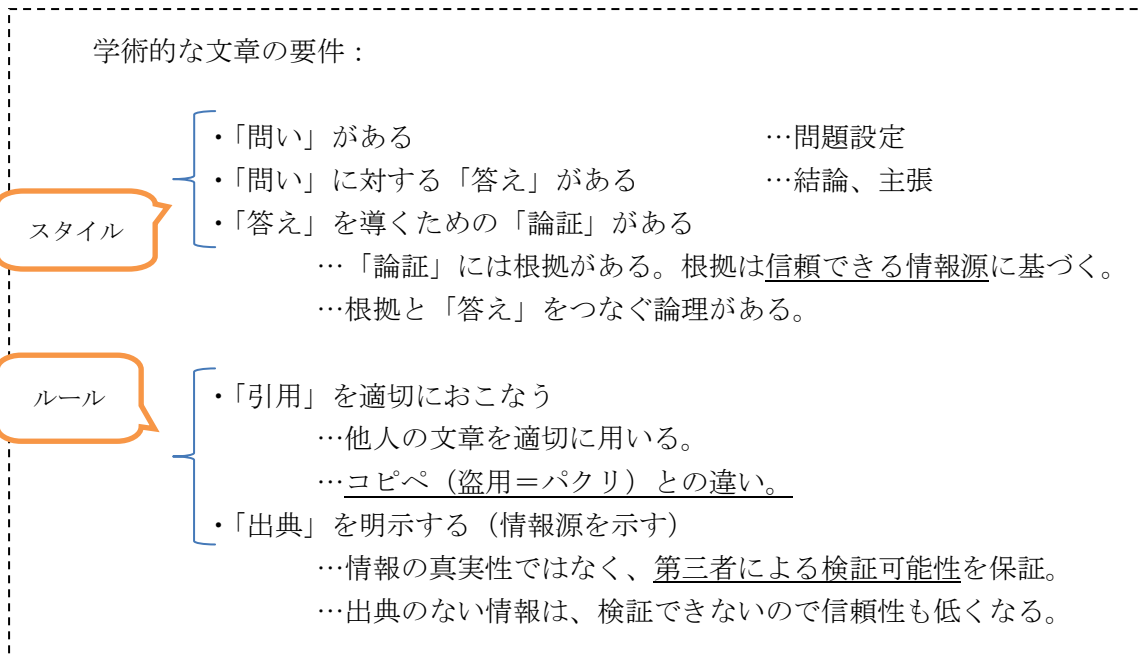
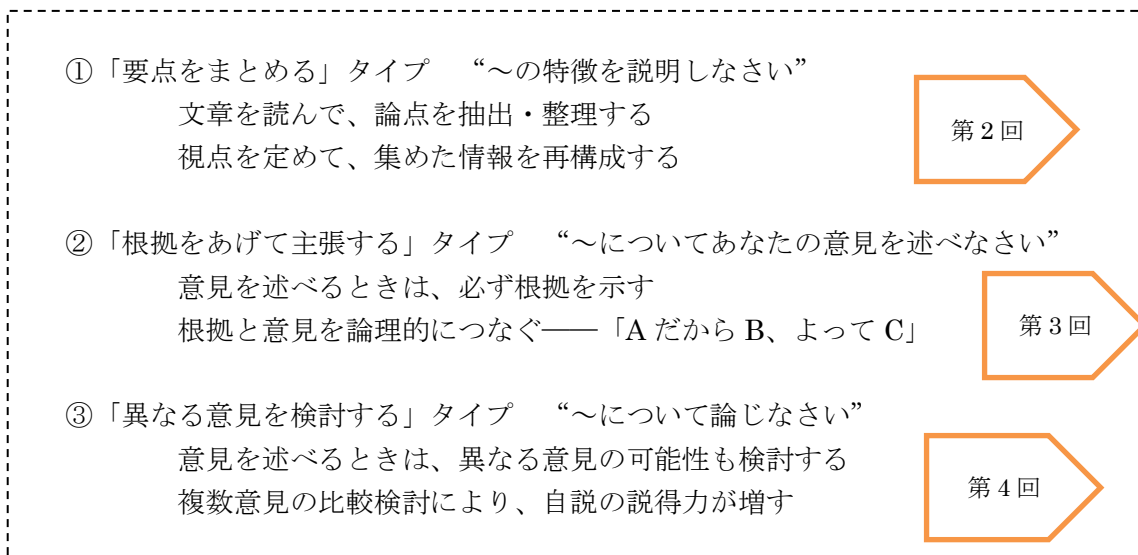


第1回「(ほぼ) すべてのレポートは3つのタイプで攻略できる！」のあらすじ

- ・レポートは「学術的な文章」である。



- ・論文とレポートは、どちらも学術的な文章であるが、
論文では、はじめの「問い」から、すべて自分で考えるのに対して、
レポートでは、「問い」が与えられ、やるべき作業が指示される
→「やるべき作業」には形が定まったパターンがある！
- ・レポート課題に取り組むうえで求められる、3つの「作業タイプ」とは？



第2回「要点をまとめるタイプ “～の特徴を説明しなさい”」

11/18月（井上）・11/19火（上岡）

- ・レポート作成における適切な情報源とは？
- ・文章を読んで、論点を抽出・整理する
- ・視点を定めて、集めた情報を再構成する
- ・適切な引用方法と参考文献の書き方(1)

【2・1】前回のおさらい（前頁参照）

★「レポート課題文の実例」で作業のタイプを確かめてみよう。

ただし…

- ・「何がどこまで要求されているか」について、課題文からすべてわかるわけではない。
- ・課題の説明のときに、担当教員の指示をよく聞くこと（曖昧なら確かめること）が重要。

【2・2】「要点をまとめる」タイプの課題文の例

A 後段（意見を述べる／論ずる）の前提となる情報を整理する

3. 最近の企業不祥事に必ず言及したうえで、(略)
10. 逸脱行動に関する主要な学説を要約した上で、(略)
12. ナショナリズム研究における「近代主義」と「原初主義」の違いを説明したうえで、(略)
14. 損害賠償における過失責任から無過失責任への流れについて記述した後、(略)
15. (略) それに関連する文献を少なくとも1冊以上読んだ上で、それを踏まえながら(略)
16. (略) 児童生徒の安全及び健康を保持する上で、課題を思われることを挙げ、(略)

B 論点を抽出する／視点を定めて再構成する

6. 森鴎外『山椒大夫』を読み、説教節『さんせう太夫』との違いについて述べなさい
8. 『菅原伝授手習鑑』寺子屋の段における身代わりにはどのような特徴があるか述べなさい。
13. (略) をみて、2010年と2011年の7～9月の実績から重要と思われる事項を4点にまとめ説明しなさい。

- ・「あなたの意見を述べなさい」や「論じなさい」というレポート課題で、必ずしもAのように「要点をまとめる」作業を明示的には要求していない場合も、本題の前提となる情報を整理することは必要である。したがって、広い意味でいえば、「要点をまとめる」はあらゆるレポート課題に共通する基礎的作業といえる。
- ・「要点をまとめる」が視点を定めて整理する以上、「主観」を完全に排除することは難しい。ここで求められる「客観」性は、もとの資料に根拠があり、書いてあるかどうかを検証できること。

【2・3】「要点をまとめる」は社会でも役に立つ（できないと困る）

- ・大学の講義では「ノートをとる＝板書を書き写す」ではない。（高校までとの大きな違い）
- ・相手の話から（与えられた資料から）、要点をつかみ、整理・再構成することは、どこでも必要。
- ・ただし、「要点をまとめる」のに適さないコミュニケーションもある。

【2・4】「要点をまとめる」課題の例

課題 世界文化遺産に関する3つの新聞記事を読み、今回の推薦プロセスに関して指摘されている問題点について、まとめなさい。

★ワーク（解答例のおかしいところを探そう）

ポイント

- (1) 問題点が「いくつあるか」をはっきりさせて、数字の枠組を使う（第1に…、第2に…）
 - ・「まず……。また……。また……。また……」とダラダラ続けてはいけない。
 - ・数字の枠組を意識することで、はじめて、論点を取捨選択して絞り込むことができる。
 - ・分量が多くなる場合は、小見出しで整理するのもよい。(①…… ②……)
- (2) それぞれの問題点を短文で要約したうえで、内容を展開する（記事を逸脱しない）
 - ・問題点ごとに段落を分ける（≒パラグラフ）。
 - ・段落の冒頭で要点を簡潔に述べる（≒トピック・センテンス）。
 - ・段落の要点からの逸脱、依拠する資料からの逸脱に注意！
- (3) 取り上げる問題点と関係のない情報を入れない（もちろん感想も入れない）
 - ・とにかく関係ないことは書かないのが鉄則。

【2・5】レポート作成における適切な情報源

- ・ 「要点をまとめる」タイプのレポート課題には2種類ある：
 - A. 与えられた資料に依拠すればよい場合
 - ・ 授業で扱った知識をまとめる
 - ・ 使う資料が予め指定されている
 - この場合、資料そのものの評価は省略することが多い
 - B. 自分で資料を用意しなければならない場合
 - ・ テーマに応じて資料を探す
 - この場合、その資料がレポート作成で用いるのに「適切かどうか」を評価する必要
- ・ 信頼のおける情報源とは？
 - ・ 著者以外の方が検証できるか？（第三者による検証可能性）
 - 引用や出典のルールがきちんと守られているか
 - ・ ネット上の情報は信頼がおけるか？
 - 「ネットだからダメ」なわけではない

(参考資料) 『大学でどう学ぶか』帝京大学総合教育センター、2013年、37～43頁

■「要点をまとめる」タイプの課題と解答の例 ★おかしいところを探そう！

(課題) 世界文化遺産に関する3つの新聞記事を読み、今回の推薦プロセスに関して指摘されている問題点について、まとめなさい。

(解答例)

今回の世界文化遺産の推薦プロセスに関する問題点は、3つあります。

第1に、選考過程が一本化されていないことである。これまで文化庁所管の文化審議会が推薦候補を選んできたが、今回から、内閣官房に設置された有識者会議からも推薦できるようになった。それは別にいいと思うのだが、両者の推薦が競合した場合にどうするかは決められていなかったため、混乱を招くことになった。

そもそも内閣官房が有識者会議を作ったり推薦条件の規制を緩めたりしたのは、日本の産業力をアピールするために強引に進めたことだから、混乱の原因が誤った政治主導にあることは明らかである。

第2に、政治家に文化遺産の評価をゆだねたことである。今回は文化庁の推薦と内閣官房の推薦が競合したので、最終的な判断は官房長官にゆだねられた。しかし、世界遺産の推薦に政治決着はふさわしくない。なぜなら、世界遺産は貴重な遺産を学術的に評価して保護することを目的としており、その評価には高い専門性が要求されるからである。

やっぱり文化遺産の評価は、官房長官ではなくて、文化審議会が専門的な見地から責任をもって判断すべきである。

第3に、世界遺産がオリンピックの招致合戦のようになってしまったことである。候補地の地元の人びとが経済効果や観光地としての箔づけをねらって推薦運動をくり広げて、地域のあいだに大きな溝を生むことになったのは残念。

政治家だけでなく、地域の関係者たちも、世界遺産の本来の趣旨をちゃんと理解して行動するべきだと思います。私自身、今回の課題に取り組むなかで、世界遺産のことをもっと知る必要があると痛感しました。

最後に、先生の授業は毎回とても分かりやすく、大変勉強になりました。これからも、こういう問題をずっと考えていきたいです(^^)!

★チェックポイント

語尾

行頭一字下げ

行のあけかた

体言止め

課題の趣旨と関係ない情報が入っていないか

記事内容を逸脱していないか (踏み込みすぎ)

自分の感想や意見を入れていないか (蛇足)

■ レポート課題文の実例 (①要点をまとめる、②根拠をあげて主張する、③異なる意見を検討する)

1. 我が国の介護制度について論ぜよ。【③題意の把握が難しい…難問】
2. TPP 問題についての君自身の賛否とその理由について述べなさい。【②(③)自分の賛否だけでなく、反対意見に反論しよう!】
3. 最近の企業不祥事に必ず言及したうえで、背任罪の動向について論じなさい。【①+③背任罪の考え方が変化している?→複数意見を競わせる!】
4. 企業統治、企業倫理からみたオリンパス事件について自分の意見を述べなさい。【②(③)複数意見を競わせる!】
5. 欧州金融危機の基本的原因と今後の世界及び日本経済に与える影響について述べよ。【①+②(③)原因と現状の分析しだいで、影響の予測はさまざま!】
6. 森鷗外『山椒大夫』を読み、説教節『さんせう太夫』との違いについて述べなさい。【①違いを記述する!】
7. 『平成 22 年度版犯罪白書』の 36 ページを読んで重大事犯者の処遇について論じなさい。【③複数意見を競わせる!】
8. 『菅原伝授手習鑑』寺子屋の段における身代わりにはどのような特徴があるか述べなさい。【①特徴を記述する!】
9. 21 世紀以降の航空産業の変化が、旅行産業に及ぼしている影響を 3 点にまとめ説明しなさい。【①+②(③)航空産業の変化の分析しだいで、影響もさまざま!】
10. 逸脱行動に関する主要な学説を要約した上で、現代日本の少年非行の特徴について論じなさい。【①+③複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる!→12・14 と同型】
11. 「東日本大震災」(福島原発事故を含む)がこれからの日本社会に及ぼすと思われる影響のなかから 3 点を選び、その理由を述べなさい。【①+②3つを選んだ理由は?】
12. ナショナリズム研究における「近代主義」と「原初主義」の違いを説明したうえで、現代日本のナショナリズムの特徴について論じなさい。【①+③複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる!→10・14 と同型】
13. 『観光庁宿泊旅行統計調査、国籍別集計』をみて、2010 年と 2011 年の 7~9 月の実績から重要と思われる事項を 4 点にまとめ説明しなさい。【①特徴を記述する!】
14. 損害賠償における過失責任から無過失責任への流れについて記述した後、東日本大震災における東京電力の賠償責任についてあなたの考えを述べなさい。【①+③複数意見を整理して、実際場面への適用で競わせる!→10・12 と同型】
15. 「環境と倫理」に関するテーマからひとつを選び、それに関連する文献を少なくとも 1 冊以上読んだ上で、それを踏まえながら自分の意見を論理的、客観的に論述しなさい。【①+③複数意見を競わせる!】
16. 学校は児童生徒が教育を受けるための施設であり、そのため安全であることが求められる。このことを踏まえ、児童生徒の安全及び健康を保持する上で、課題を思われることを挙げ、その解決のために何をすることが必要か、自分の考えを述べなさい。【①+②課題に対応した解決策を考える!】

(帝京大学八王子キャンパスの過去のレポート課題より。一部加工)

■毎日■社説「世界遺産推薦 公平で透明な選定を」

毎日新聞 2013年10月07日 02時30分

<http://mainichi.jp/opinion/news/20131007k0000m070089000c.html>

政府は2014年の「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）に続いて、15年の世界文化遺産登録を目指し、国連教育科学文化機関（ユネスコ）に「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を推薦することを決めた。

しかし、選定の経緯がわかりにくく、しこりを残しかねない。今後は選考過程を一本化して、もっと公平で透明な仕組みにすべきだ。

各国の推薦枠は一つ。今回は内閣官房推薦の「産業革命遺産」と文化庁推薦の「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が最後に争った。

世界文化遺産の候補は、従来は事実上、文化庁所管の文化審議会が選んできた。ところが、政府は昨年5月、規制を緩和する閣議決定をした。稼働中の工場などを含む場合、文化財指定をされていなくても、推薦できるようにするためだ。内閣官房に有識者会議を設置し、そこからも推薦できるようにしたのだ。

ところが、文化庁の推薦と内閣官房の推薦が競合した場合、どうするかは決められていなかった。このため、菅義偉官房長官にゆだねられた。でも、政治家に文化遺産を評価する能力があるのだろうか。

世界文化遺産候補については、ユネスコの諮問機関である国際記念物遺跡会議（イコモス）が審査する。遺産の価値から保全状態に至る多角的な評価は、きわめて専門性が高い。政治決着する方法は、世界遺産への推薦に適していないだろう。

現在、世界遺産の国内暫定リスト（推薦を待つ候補として、政府がユネスコに提出しているリスト）には、他に稼働中の資産を含むものはない。しかし、文化庁と内閣官房の二つの会議がそれぞれ候補を選ぶ枠組みは残っており、将来、同様の混乱を招きかねない。

推薦されることが決まった「産業革命遺産」は28件の資産から成り、岩手から鹿児島まで8県に及ぶ。急速な近代化を実現した日本の軌跡を証言する遺産群だ。

今後の課題として、数多くの構成資産を一つの緊密な物語にまとめることが求められる。萩の城下町（山口県）から三池炭鉱跡（福岡、熊本県）まで、どのように統一感のある流れでとらえるのか。さらに、稼働中の新日鉄住金八幡製鉄所（福岡県）や三菱重工長崎造船所（長崎市）は企業との調整が欠かせない。長崎市の端島（軍艦島）の保全方法も問題だ。

普遍的な価値を有する遺産を人類全体の財産として保護するのが世界遺産の目的だ。地元の人々が登録を誇りとするのは尊いが、経済効果や観光地としての箔（はく）づけが第一義的な目的ではないことは、しっかりと認識しておきたい。

■朝日■「五輪招致合戦のよう」 世界遺産推薦、しこり残す

朝日新聞 2013年9月18日 4時31分

http://digital.asahi.com/articles/TKY201309170369.html?ref=comkiji_txt_end_kjid_TKY201309170369

【編集委員・中村俊介、藤井裕介】2015年の世界文化遺産登録に向け、政府は「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」（福岡、岩手など8県）を推薦することを決めた。「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」（長崎、熊本両県）と年一つの推薦枠を争い、初めて官房長官による「政治判断」で決着したが、後味の悪さは否めない。

「産業革命遺産」は、長崎市の長崎造船所など九州の施設を中心に、岩手県釜石市の橋野高炉跡や静岡県伊豆の国市の韮山反射炉など、28の資産で構成している。

世界文化遺産は登録数の抑制のため、昨年度から推薦できるのは1年に1件になった。「教会群」は昨年度、「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県）に競り負け、捲土（けんど）重来を目指した結果、2015年の登録を目指してきた「産業革命遺産」とぶつかった。両候補にまたがる長崎県は、同年が幕末に隠れキリシタンの存在がわかった「信徒発見」から150周年となることなどから、「教会群」の優先を明言し、「産業革命遺産」を推す他地域との関係はこじれた。

「産業革命遺産」は、長崎造船所など複数の現役の稼働施設を抱える。政府は昨年、制約の強い文化財保護法による保全という推薦条件を緩和した新しい枠組みを作り、稼働施設も推薦しやすくした。従来選考をまとめてきた文化庁ではなく内閣官房が担当し、新設した有識者会議が「推薦可能」と判断した。一方、文化庁や文化審議会が「教会群」を推した。

「産業革命遺産」は構成する施設の保全管理計画が整っていないなど、準備の遅れを指摘されていた。そうした指摘は「推薦可能」と判断した有識者会議のメンバーからも聞かれた。

政府関係者は「世界遺産が、オリンピックの招致合戦のようになってしまった」とみる。世界遺産の目的は、貴重な遺産を学術的に評価して保護していくこと。しかし「経済効果などの側面ばかりに注目して登録を目指そうとする人もいる。『産業革命遺産』も新しい枠組みを作って、推薦を急ぐ人がいたのだろう」。

ただ、別の政府関係者は「『産業革命遺産』の枠組みは、抜け道を作った訳ではない。稼働資産を所有する企業の同意を得るために必要だった」と話す。地元だけではなく、政府内にもしこりを残した。

■産経■「九州対決「産業遺産」に軍配 世界文化遺産国内候補 福岡」

産経ニュース 2013.9.15 02:09

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/130915/fkk13091502090000-n1.htm>

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の平成27年の世界文化遺産登録に向け、国内候補に「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が選ばれる見通しとなった。九州・山口の自治体は地域アピールのまたとない機会と喜ぶが、リストには稼働中の施設も多数あり、ユネスコが求める管理保全計画の策定など課題も残る。（田中一世）

「もし本当に決まったのなら、幕末から明治期に急速に発展した日本の産業力を物語る点が評価されたのでしょうか。世界遺産になれば、他県と連携し、この素晴らしい遺産の情報発信を考えたい」

八幡製鉄所（北九州市）など8件の構成資産がある福岡県の担当者はこう語った。

世界遺産は、各国による推薦を元にユネスコが決定する。昨年から推薦は各国1件に制限された。

本年度の国内推薦候補には、いずれも九州にゆかりがある2件が挙げられた。

内閣官房有識者会議が推した「産業革命遺産」（福岡、長崎、鹿児島など8県）と、文化庁所管の文化審議会が推した「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」（長崎、熊本両県）だ。絞り込みの結果が注目されていたが、軍配は産業革命遺産に上がった。

そもそも、政府が有識者会議を新設したのも、産業革命遺産を何とか推薦したい、という狙いがあったからだという。

日本の産業力をアピールする絶好機として、世界遺産登録を目指す機運が政府内や自治体で高まったが、産業革命遺産には三菱重工業長崎造船所（長崎市）や新日鉄住金八幡製鉄所など、稼働中の企業設備が多数含まれる。

これまで世界遺産の国内候補は文化審が決めてきた。文化審は、文化財の現状変更には厳しい規制の枠を設けており、企業の現役施設に適用するのは無理があった。

そこで昨年5月、内閣府独自で推薦遺産を選考する枠組みを閣議決定した。こうした経過を踏まえれば、政府が産業革命遺産を選んだのは当然の成り行きだったともいえる。

国内レースを勝ち抜いたが、産業革命遺産にも課題がある。

ユネスコは大聖堂や城郭といった宗教遺産や著名観光地に世界遺産が偏っている現状を見直し、産業遺産を積極的に登録する方針を取っている。

だが、登録には将来にわたる万全な管理保全態勢が取られていることが大前提となる。例えば三菱重工の大型クレーンやドック、新日鉄住金の機械修繕工場などが、老朽化で生産設備としての役目を終えた場合、誰が管理し、費用負担はどうするのか。産業革命遺産では、こうした管理保全計画の策定は着手したばかりという。

内閣官房有識者会議でも「（世界遺産登録が）企業には経営の足かせになることを覚悟してもらうべきだ」との意見も出た。

35年前に登録が始まった世界遺産は件数が981件に達し、「増えすぎ」とも言われる世界遺産について、ユネスコの審査は厳しさを増している。今年6月には「武家の古都・鎌倉」が「物証が不十分」と指摘され、申請後に取り下げざるを得ない事態になった。

産業革命遺産も今後、保全管理計画の策定が急務となる。加えて「萩の城下町」から「造船所のドック」まで一見バラバラな28もの資産を、ユネスコが納得する明確なコンセプトでまとめることが鍵になる。

また、2つの候補の絞り込みを通じて、長崎県と他県の間に大きな溝が生じた。

長崎県は教会群の推薦にこだわってきた。昨年の文化審議会でも国内候補の座を争った「富岡製糸場」（群馬県）に敗れた。捲土重来を期してこの1年、管理保全計画のさらなる充実などに取り組んできた。

それだけに長崎県の中村法道知事は「（産業革命遺産は）今年度の推薦に向けた準備は不十分。現状では登録審査に耐えられない」と、産業革命遺産の推薦先送りと、教会群遺産の推薦を政府に求めてきた。

今月4日、産業革命遺産の地元の首長らが菅義偉官房長官に推薦を要望した際にも、長崎県と長崎市だけは参加しなかった。

だが、長崎県は敗色濃厚だ。担当者は「教会は離島や過疎地に多く、地域の活性化にも期待は大きい。まだ正式発表ではないので、希望は持っています」と語る。これに対し、産業革命遺産の推薦をリードしてきた鹿児島県の担当者は「（長崎県とも）ずっと一緒にやってきた関係です。日本再生の力になるビッグプロジェクトですし、産業革命遺産の結果が出た後はきちんと協力していけるとは思います…」
遺恨を乗り越え、地域が一体にならなければ、世界遺産登録は難しい。